

2022年12月15日 対馬野生生物保護センター
季刊誌95号 〒817-1603 対馬市上県町佐護掉崎公園内
TEL:0920-84-5577 FAX:0920-84-5578
E-mail:twcc2011@yahoo.co.jp

とらやまの森

<http://www.kyushu.env.go.jp/twcc/index.htm>

2022 冬号
NO. 95

ツシマヤマネコ、大移動中！

2021年10月に交通事故が原因で対馬野生生物保護センターへ保護された「トラ吉」が、治療を終え、2022年8月20日に上対馬町琴周辺で放猟されました！

そして現在、センターではトラ吉が無事に生きていっているかを調べるために、首輪をつけて調査を行っているのですが、なんと調査によってトラ吉が上対馬町琴から峰町吉田まで移動していることがわかりました（11月11日現在）これには職員もビックリ。しかも、真っすぐ吉田に向かったのではなく、豊玉町貝口付近まで移動した後に豊玉町和板を経由して、向かったのです。その距離なんと、直線移動距離で約55km！これは地図上で計測した値のため、実際は山を登ったり下ったりしているため、もっと移動していると考えられます。凄すぎるぞトラ吉！



保護された時は亜成獣でしたが、今は立派な成獣へ成長しました

トラ吉



また、今回の調査で、頻繁に道路沿いを移動したり、横断しているのが分かりました。これはトラ吉だけではなく、他のヤマネコも同じように行動すると考えられます。対馬島内で車を運転する際はツシマヤマネコにご注意下さい。

ツシマヤマネコは車に轢かれてすぐは生きている可能性が高いため、もしヤマネコを轢いてしまった場合（ツシマヤマネコを車で轢いてしまっても、故意でなければ罪に問われることはありません）や、道路にうずくまっている、弱っているヤマネコを発見した場合は対馬野生生物保護センターまでご連絡いただきますようご協力ををお願いいたします。

冬は交通事故発生件数が増加しています。1件でも多く、ヤマネコの交通事故を減らすために、夜間から早朝の運転には特にご注意下さい！ご協力のほどよろしくお願ひいたします！

24時間ヤマネコ通報対応中



ヤマネコは
耳の後ろに
白い斑があります。

対馬野生生物保護センター（ヤマネコセンター）

0920-84-5577

開館時間と休館日のお知らせ

【開館時間】10時～16時30分（入館は16時まで）

【休館日】月曜日（月曜日が祝日及び振替休日の場合は開館、翌日火曜日に休館）、年末年始（12月29日～1月3日）

※新型コロナウィルスの影響で臨時休館となる場合があります。ご了承下さい。



ツシマヤマネコ交通安全ポスター展を開催中です！

現在、対馬島内で開催しているツシマヤマネコ交通安全ポスター展ですが、残るところ対馬野生生物保護センターでの展示だけになりました。以下の日程で展示していますので、ぜひセンターへお越しください！

最優秀賞作品



小中学生の部
難知中学校
永留 心花さん

一般の部
中川 みほさん

ポスター展展示日程

対馬野生生物保護センター

2023年1月4日（水）～2月12日（日）

※ショッピングセンターパル、対馬市交流センター、上対馬総合センター、豊玉公民館の巡回展示は終了いたしました

ツシマヤマネコの錯誤捕獲にご注意を！

聞き慣れない言葉ですが、「錯誤捕獲」をご存じでしょうか？錯誤捕獲とは捕獲対象以外の動物が誤って捕獲されることをいいます。対馬ではツシマヤマネコの錯誤捕獲、特にくくりわなによる錯誤捕獲が近年増えています。（令和3年度3件発生）

くくりわなにかかったツシマヤマネコは一見すると健康そうであっても、くくられた部分の毛を剃ると皮膚に炎症を起こし治療の必要な場合があります。くくりわなの縛め付けによる怪我は早期の治療によりその程度を最小限に抑えることができます。

くくりわなにかかったツシマヤマネコを発見した場合には、対馬野生生物保護センターまでご連絡ください。ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

※故意でなければツシマヤマネコを錯誤捕獲しても罪に問われることはございません。



新職員のご挨拶

8月から配属しました。主に対馬で増えてきているシカに関する調査、対策をしていきます。
ヤマネコにとってもみなさんにとってもよりよい対馬を一緒に作っていきたいと思っていますのでこれからよろしくお願いします。
対馬自然保護官事務所 生態系保全等専門員
橋田 竜一(たちばんだ りゅういち)



今年生まれたヤマネコの名前が決定しました！



～なまえの由来～

- ・No. 97（つむぎ）：人工哺育で命や人の思いを「紡（つむ）ぐ」より命名。
- ・No. 99（りん）：生態系等つながりを考えて輪っかの「輪（りん）」より命名。
- ・No. 100（チョコ）：父親チョビの名から「チョ」の字を受け継ぎ命名。

「つむぎ」は「結（ゆい）」の子で4月に帝王切開で生まれました。「りん」と「チョコ」は「妃（ひめ）」の子で7月に自然分娩で生まれた3頭のうちの2頭です。昨年度に対馬の野生下から動物園（飼育下）に入ってくれた「チョビ」がこれら3頭の父親で、令和4年度のツシマヤマネコの繁殖に大きく貢献してくれました。冬となり、ヤマネコの繁殖期がまたやってきました。野生下でも飼育下でも個体数が増えることを期待したいです。

遊び盛りで育ち盛りの子猫たちをよろしくお願いします！

ステーションだより ステーションのヤマネコが移動します！

11月10日、No. 88「こう」とNo. 94「さすな」が、よこはま動物園に移動しました。は野生順化訓練の試行の他、ステーションの新たな取り組みとして繁殖期の行動観察や新型首輪の試着、交通事故を防ぐための試験に協力してもらいました。2頭はよこはま動物園で人工授精に参加する予定です。



ステーションの新たな導入個体として、福岡市動物園で今年生まれたNo. 97「つむぎ」とNo. 99「りん」を導入することが決まりました。この2頭はNo. 94「さすな」に続く亜成獣期での導入となるため、さらなる知見の集積が期待されます。野生順化訓練を通して、様々な能力を発揮できるよう万全な準備をしていきたいと思います。

こうとさすな、元気でね！つむぎとりん、よろしくね！

～前号「いきものクイズ」の訂正について～

前号の生き物クイズ『次の写真のうち、オオチョウジガマズミはどれでしょう。』で正解は②とあります。正しくは①が正解です。申し訳ありませんでした。

いきものクイズ

イチョウに実る銀杏（写真）は食用に利用されます。イチョウの種子の可食部（銀杏）は次のうちどれに当たるでしょうか。

①外種皮 ②中種皮 ③内種皮（殻） ④胚乳

答えはウラ（4ページ）をみてね！





「とらやまの森」の記事を引用される際には、
出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。

対馬にいる生き物をご紹介します！

第11回

チョウセングンバイトンボ

学名: *Platycnemis phyllopoda*



チョウセングンバイトンボは、朝鮮半島や中国、極東ロシアに分布するトンボの1種で、国内では対馬にのみ生息が確認されています。大きさは3cm~4cmで、オスの脚の白色で軍配状に広がる特異な形態に特徴があり、グンバイトンボの名前の由来ともなっています。

チョウセングンバイトンボの日本国内初記録（報告）は令和4年3月と最近で、新たに日本で生息が確認された種として、過度な捕獲の集中や採集の誘発により個体群が消滅する可能性があることから、緊急的に個体の捕獲や販売等を規制するため「種の保存法」に基づき緊急指定種に指定されています。このため、チョウセングンバイトンボを捕まえたり、販売・譲渡したりすることはできません。運よく見つけた際には、とるのは写真だけにして、そっと見守ってくださいね。そしてぜひ対馬野生生物保護センターへの情報提供をお願いします。貴重な生き物が生息する対馬の豊かな自然環境を、みんなで守っていきましょう！



今回の対馬のあの人この人は…

No.29 対馬市立つしま図書館 主任 草葉俊彦さん



オススメの本は
「ツシマヤマネコ」

対馬の森、野生との共存をめざして
ヤマネコだけではなく、人と自然との共存
についても深くかかれています。

「つしもん」
図書館生まれの
推定10歳。
図書館まつりで
大活躍！



つしま図書館

住所：厳原町今屋敷661-3
TEL: 0920-52-3900
開館時間：午前10時～午後6時
休館日：月曜日、第3木曜日、祝日
(その他の休館日はホームページをご確認下さい)

どのようなお仕事をされていますか？

本の貸出・返却、資料の収集・修繕、図書館まつりなどのイベント開催、レファレンスサービスなどです。レファレンスサービスは、皆さまの調べものを私たちが図書館の資料等を使ってサポートするサービスで、誰でもご利用が出来ます。

対馬が古くから大陸との中継地として重要な役割を果してきたことから、島外の方からの専門的な質問なども多く受け付けています。

ツシマヤマネコについてどう思いますか？

対馬のシンボルであり、人と自然との共生を考える上でもとても大切な存在だと思います。

個人の感想ですが、対馬のこどもたちにはヤマネコの大しさが十分伝わっていると思いますが、もっと身近に本物のツシマヤマネコを見られる場所があればいいなと思っています。

また、ツシマヤマネコに関する書籍自体が少ないので、ツシマヤマネコに関する書籍化の情報などがありましたら、ぜひ図書館までお知らせください。

今日の一枚 by 橋田

シカ頭数調査の一環として上県町付近にてライトセンサスを行いました。

夜中に懐中電灯を使って光に反射したシカの目を頬りにあたりを照らしながらシカを探すのはまるでナイトサファリのようでした。（見えますでしょうか？？）



いきものクイズの答え

正解は④胚乳でした。イチョウの種子の胚乳には栄養が豊富に含まれています。
香りが独特で好き嫌いが分かれるかもしれません、銀杏の香りを生かす食べ方を考えてみてはいかがでしょうか。